

令和7年度実施

FUJII CITY
富士市

いただきへの、
はじまり

富士市職員 採用試験 案内

秋日程

▼ 一般採用

土木技術職、建築技術職、電気技術職、
機械技術職、学芸員（考古学専攻）、消防職

▼ 経験者採用

一般事務職、土木技術職（F-UJI ターン枠）、
建築技術職、電気技術職、機械技術職、
心理判定員



- ・ 土木技術職、建築技術職、電気技術職、機械技術職で高卒区分を新設しました。
- ・ 職種に関わらず別日程との併願受験が可能です。最終合格した時点で他の試験は受験できません。

受付期間

令和7年7月25日(金)～8月19日(火)

(※電子申請で申し込みをしてください。最終日の受付は午後5時15分までです。)

試験日

プレゼンテーション動画試験

▼ 一般事務職

令和7年8月22日(金)～9月1日(月)

*受験申込期間終了後、市から送られてくる質問テーマに対しての回答を動画で撮影し、指定するURLから送付する形式で実施します。日時や場所にとらわれず受験いただくことができます。

▼ 土木技術職、建築技術職、電気技術職、機械技術職、 心理判定員、学芸員（考古学専攻）、消防職

令和7年9月21日(日)

1 試験職種及び採用予定人員(秋日程)

試験職種		採用予定人員	業務の内容
一般採用	土木技術職 (大卒程度)	5人程度	市役所本庁、又は出先機関などにおいて、土木技術的業務に従事します。
	土木技術職 (高卒)		
	建築技術職 (大卒程度)	5人程度	市役所本庁、又は出先機関などにおいて、建築技術的業務に従事します。
	建築技術職 (高卒)		
	電気技術職 (大卒程度)	若干人	市役所本庁、又は出先機関などにおいて、電気技術的業務に従事します。
	電気技術職 (高卒)		
	機械技術職 (大卒程度)		市役所本庁、又は出先機関などにおいて、機械技術的業務に従事します。
	機械技術職 (高卒)		
	学芸員 (考古学専攻)	1人	埋蔵文化財発掘調査、又は博物館における学芸業務及び付随する事務的業務に従事します。
	消防職 (短大卒)	若干人	消防本部、又は市内消防署などにおいて、消防業務に従事します。
	消防職 (高卒)		
経験者採用	一般事務職	5人程度	市役所本庁、又は出先機関などにおいて、一般事務的業務に従事します。
	土木技術職 (F-UJIターン枠)	若干人	市役所本庁、又は出先機関などにおいて、土木技術的業務に従事します。
	建築技術職	若干人	市役所本庁、又は出先機関などにおいて、建築技術的業務に従事します。
	電気技術職	若干人	市役所本庁、又は出先機関などにおいて、電気技術的業務に従事します。
	機械技術職		市役所本庁、又は出先機関などにおいて、機械技術的業務に従事します。
	心理判定員	1人	富士市立こども発達センターなどにおいて、発達相談支援及び心理コンサルテーション業務に従事します。

採用予定人員は、退職者の状況等により変更になる場合があります。

申込できる職種は一つに限ります。申込後の試験職種・区分の変更はできません。

2 受 験 資 格 等

(1) 一般採用

試 験 職 種	試 験 区 分	受 験 資 格
土木技術職 建築技術職 電気技術職 機械技術職	大 卒 程 度	昭和60年4月2日以降に生まれた人(障害者は昭和39年4月2日以降)
	高 卒	平成13年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による高校を卒業した人、又は令和8年3月卒業見込みの人(同等の資格があると認められる人を含む。)
学 芸 員 (考古学専攻)	大 卒	平成2年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に規定する大学(短期大学を除く)若しくは大学院で日本考古学を専攻し卒業した人、又は令和8年3月卒業見込みの人で、博物館法に定める学芸員(考古学専攻)資格を有する人。 ※学芸員資格は、令和8年3月31日までに取得見込みの人、又は令和7年度に行われる国家試験により取得見込みの人を含みます。
消 防 職	短 大 卒	平成11年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による短大・高専のいずれかの学校を卒業した人、又は令和8年3月卒業見込みの人(同等の資格があると認められる人を含む。)
	高 卒	平成13年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による高校を卒業した人、又は令和8年3月卒業見込みの人(同等の資格があると認められる人を含む。)

※ 試験区分のうち「大卒程度」は、試験内容が大学卒業程度を意味し、受験資格として学歴を問いません。

(2) 経験者採用

＜求める人材＞

民間企業等で培われた知識や経験を富士市の行政に活かしたいという強い意欲があり、広い視野と柔軟な発想を持ち、直ちに活躍できる人

職 種	試 験 区 分	受 験 資 格
一般事務職	大 卒 程 度	昭和39年4月2日以降に生まれた人で、平成28年4月1日以降、民間企業等職務経験が通算5年以上ある人(※1)で、富士市内に居住する人(採用後に居住する人を含む。)
土木技術職 (F-UJIターン枠)	大 卒 程 度	昭和39年4月2日以降に生まれた人で、次の①、②のいずれも満たす人 ① 令和7年7月25日現在、静岡県外に居住している人(※2)で、採用後、富士市に移住できる人 ② 平成28年4月1日以降、土木工事の設計・積算、施工管理の経験を通算5年以上有する人(※1)
建築技術職	大 卒 程 度	昭和39年4月2日以降に生まれた人で、平成28年4月1日以降、建築の設計、施工管理の経験(建築士法施行規則第1条の2各号に規定する実務に限る。)を通算5年以上有する人(※1)
電気技術職	大 卒 程 度	昭和39年4月2日以降に生まれた人で、平成28年4月1日以降、電気設備の設計・施工管理又は上下水道施設の維持管理等に関する経験を通算5年以上有する人(※1)
機械技術職	大 卒 程 度	昭和39年4月2日以降に生まれた人で、平成28年4月1日以降、機械設備の設計・施工管理又は上下水道施設の維持管理等に関する経験を通算5年以上有する人(※1)
心理判定員	免許資格職	昭和39年4月2日以降に生まれた人で、臨床心理士、臨床発達心理士、公認心理師のいずれかの資格を有し、実務経験を通算3年以上有する人(※1)

(※1) 職務経験期間は令和8年3月31日までに経験年数が通算年数に達する場合を含みます。また、最終合格者は、内定後に職歴を証明する書類等を提出していただきます。

(必要な職務経験期間の確認ができない場合は、採用(内定)を取り消します。)

(※2) 最終合格者は、居住地の確認のため住民票を提出していただきます。

※ 試験区分のうち「大卒程度」は、試験内容が大学卒業程度を意味し、受験資格として学歴を問いません。

※ 職種に関わらず別日程との併願受験が可能です。

(例) 春日程で土木技術職を受験した方は、秋日程の建築技術職の受験ができます。

◎ 一般事務職の業務内容と勤務予定先の例

職 種	業 務 内 容 の 例	主 な 勤 務 予 定 先 (例 示)
一般事務職	企画調整業務、システム関連業務、シティプロモーション関連業務、福祉関連業務、産業振興関連業務、環境関連業務、教育関連業務 等	本庁各課、消防防災庁舎、 県総合庁舎(上下水道部)、 教育プラザ、地区まちづくりセンター

◎ 職務経験年数の考え方

- ① 1つの民間企業等で週30時間以上の勤務を、満1年以上継続して就業していた期間について、複数のものを通算することができます。職務経験を合算し、1ヶ月未満の期間がある場合は、30日をもって1月と計算します。
 [例1] A社2年、B社1年6ヶ月20日、C社1年5ヶ月10日
 →4年11ヶ月30日→通算5年となり、受験資格あり。
 [例2] A社4年、B社6ヶ月20日、C社5ヶ月10日
 →B社とC社は1年に満たないため、通算4年となり、受験資格なし。
- ② 休職・休業期間(育児休業、介護休業、病気休職等)は、職務経験期間に含めることができません。
- ③ 同一期間内に複数の職務に従事した場合は、いずれか一つの職歴に限ります。

◎ 給与等の例 (経験者採用)

大学卒業直後に民間企業等で正規職員として一定期間勤務し、その後に当該職種で採用された場合、令和7年4月1日における初任給(地域手当を含む。)は、それぞれ次のとおりです。

職務経験年数	一般事務職、土木技術職、建築技術職、電気技術職、機械技術職、心理判定員
10年	271,817円
15年	278,100円
20年	287,164円

※ 初任給は、採用職種の他、学歴や採用される以前の職歴等に応じて、一定の基準により決定しますので、上記の例と異なる場合もあります。

※ 上記のほか、通勤手当、扶養手当、住居手当、期末勤勉手当などが、それぞれの支給基準に基づき支給されます。

【注意事項】

(1) 消防職については、次の身体的要件に適合することが必要です。

ア 聴力＝正常

イ 視力＝矯正視力を含み、両眼で0.7以上かつ一眼でそれぞれ0.3以上であること。

ウ 色覚＝赤色、青色及び黄色の色彩の識別ができること。

(2) 技術職(高卒)及び消防職は、最終学歴以外の受験資格では受験できません。

(例:大卒者が高卒区分で受験はできません。)

(3) 消防職の受験資格で、次の要件を満たす人は、大卒に区分しますので、今回の受験はできません。

[消防職(大卒)は、夏日程(令和7年7月13日)において実施済]

○専門学校(専修学校専門課程)において高度専門士の称号を取得、又は令和8年3月までに取得見込みの人

(4) 消防職の受験資格で、次の要件を満たす人は、短大卒に区分します。

○専門学校(専修学校専門課程)において専門士の称号を取得、又は令和8年3月までに取得見込みの人

(5) 技術職(高卒)及び消防職の受験資格で、次の要件を満たす人は、高卒に区分します。

○高等学校卒業程度認定試験の合格者

(6) 技術職(高卒)及び消防職について、当該試験区分を卒業見込みの人が令和8年3月までに卒業できない場合は、採用(内定)を取り消します。

(7) 免許等を要する職種については、令和8年3月31日までに取得見込みの人、又は令和7年度に行われる国家試験・資格試験により取得見込みの人を含みます。なお、免許等を取得できなかった場合は、採用(内定)を取り消します。

(8) 昭和39年4月2日以降、昭和60年4月1日までに生まれた人については、障害者(※)に限り土木技術職、建築技術職、電気技術職、機械技術職の職種において受験ができます。

※障害者は身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳のいずれかの交付を受けている人としします。但し、手帳がない方でも以下のいずれかの書類を試験日に提示できる方は受験できます。

①都道府県知事の定める医師(以下「指定医」という。)又は産業医による障害者の雇用の促進等に関する法律別表に掲げる身体障害を有する旨の診断書・意見書(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう若しくは直腸、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫又は肝臓の機能の障害については、指定医によるものに限る。)

②児童相談所、知的障害者更生相談所、精神保健福祉センター、精神保健指定医又は障害者職業センターによる知的障害者であることの判定書

試験日に、手帳又は、上記①、②を確認しますので、当日ご持参ください。また、最終合格者は各々の写しを提出していただきます。

(9) 次のいずれかに該当する人は受験できません。

ア 日本国籍がない人(令和8年3月31日までに国籍取得見込みの人を除く。)

イ 地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当する人

○ 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

○ 富士市において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者

○ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3 試験の方法、日時、会場及び合格発表

(1) 一般採用

① 第1次試験及び論文・作文試験(第2次試験)

職 種	試験科目	試 験 日	会 場	合格発表
土木技術職(大卒程度) 建築技術職(大卒程度) 電気技術職(大卒程度) 機械技術職(大卒程度)	専門試験 適性検査 論文試験(※)	令和7年 9月21日(日)	富士市役所 (富士市永田町 1丁目100番地)	10月上旬頃 市ウェブサイト に合格者の受験 番号を掲載 (合格者のみ通知)
土木技術職(高卒) 建築技術職(高卒) 電気技術職(高卒) 機械技術職(高卒)	専門試験 適性検査 作文試験(※)			
学 芸 員 (考古学専攻)	教養試験 適性検査 論文試験(※)			
消 防 職 (短大卒・高卒)	教養試験 適性検査 体力試験 作文試験(※)			

※ 論文・作文試験は第2次試験科目としますが、第1次試験時に併せて行います。受験者全員に対して実施し、採点は第1次試験合格者についてのみ行います。

☆ 専門試験の試験時間と出題分野

職 種	時 間	出 題 分 野
土木技術職 (大 卒 程 度)	2時間	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、土木計画(都市計画を含む)、材料・施工
建築技術職 (大 卒 程 度)		数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画(都市計画、建築法規を含む。)、建築設備、建築施工
電気技術職 (大 卒 程 度)		数学・物理、電磁気学、電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
機械技術職 (大 卒 程 度)		数学・物理・情報、材料力学、流体力学、熱工学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作

職 種	時 間	出 題 分 野
土木技術職 (高 卒)	1時間30分	数学・物理・情報、土木構造設計(構造力学、構造設計)、 土木基盤力学(水理学、土質力学)、測量、社会基盤工学、土木施工
建築技術職 (高 卒)		数学・物理・情報、建築構造設計、建築構造、建築計画、建築法規、 建築施工
電気技術職 (高 卒)		数学・物理、電気回路、電気機器・電力技術・電子計測制御、 電子技術・電子回路・通信技術・情報
機械技術職 (高 卒)		数学・物理・情報、機械設計、機械工作、原動機、生産技術、 電子機械

☆ 教養試験の試験時間と出題分野

職 種	時 間	出 題 分 野
学 芸 員 (考古学専攻)	2時間	時事、社会・人文、自然に関する一般知識、文書理解、 判断・数的推理、資料解釈に関する能力を問う問題
消 防 職 (短大卒・高卒)	2時間	時事、社会・人文に関する一般知識を問う問題(「自然に関する 一般知識」の出題はありません。) 文書理解、判断・数的推理、資料解釈に関する能力を問う問題

☆ 体力試験の試験時間と試験内容

職 種	時 間	試 験 内 容
消 防 職 (短大卒・高卒)	3時間	上体起こし、反復横とび、立ち幅とび、握力、20mシャトルラン

② 第2次試験

職 種	試験科目	試 験 日	会 場	合 格 発 表
土木技術職 (大卒程度・高卒)	面接試験	令和7年10月上旬～中旬 の間で指定された日 第1次試験合格者に通知	富士市役所 (富士市永田町 1丁目100番地)	10月下旬頃 市ウェブサイト に合格者の受験 番号を掲載 (合格者のみ通知)
建築技術職 (大卒程度・高卒)				
電気技術職 (大卒程度・高卒)				
機械技術職 (大卒程度・高卒)				
学 芸 員 (考古学専攻)	面接試験	令和7年10月中旬～下旬 の間で指定された日 第1次試験合格者に通知		
消 防 職 (短大卒・高卒)	集団面接試験	令和7年10月中旬～下旬 の間で指定された日 第1次試験合格者に通知		

③ 第3次試験

職 種	試験科目	試 験 日	会 場	合 格 発 表
消 防 職 (短大卒・高卒)	面接試験	令和7年11月上旬～中旬 の間で指定された日 第2次試験合格者に通知	富士市役所 (富士市永田町 1丁目100番地)	11月下旬頃 市ウェブサイト に合格者の受験 番号を掲載 (合格者のみ通知)

※ 消防職の最終合格者は、第2次試験の成績と第3次試験の成績を1:4の比率で総合して決定します。

(2) 経験者採用

① 第1次試験

職 種	試験科目	試 験 日	合格発表
一 般 事 務 職	プレゼンテーション 動画試験	令和7年8月22日(金)～9月1日(月)	9月末頃 市ウェブサイト に合格者の受験 番号を掲載 (合格者のみ通知)

プレゼンテーション動画試験の流れ

1. 今後の流れをメール送信(人事課)

電子申請時に入力いただいたメールアドレスへ「今後の流れについて」を送信します。

(送信は、8月21日(木)を予定しています。)

メールの内容は、プレゼンテーション動画試験のURL、質問テーマ、試験に関する留意事項等になります。

2. プレゼンテーション動画の送信(受験者)

プレゼンテーション動画試験のURLにアクセスし、質問テーマに沿って撮影した動画をアップロードし、期間内に送信してください。

第1次試験及び論文試験(第2次試験)

職 種	試験科目	試 験 日	会 場 等	合格発表
土 木 技 術 職 (F-UJIターン枠)	専門試験 適性検査 論文試験(※)	令和7年 9月21日(日)	富士市役所 (富士市永田町 1丁目100番地)	10月上旬頃 市ウェブサイト に合格者の受験 番号を掲載 (合格者のみ通知)
建 築 技 術 職				
電 気 技 術 職				
機 械 技 術 職				
心理判定員	面接試験 作文試験			

※ 論文試験は第2次試験科目としますが、第1次試験時に併せて行います。受験者全員に対して実施し、採点は第1次試験合格者についてのみ行います。

☆ 専門試験の試験時間と出題分野

職 種	時 間	出 題 分 野
土 木 技 術 職 (F-UJIターン枠)	2時間	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、土木計画(都市計画を含む。)、材料・施工
建 築 技 術 職		数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画(都市計画、建築法規を含む。)、建築設備、建築施工
電 気 技 術 職		数学・物理、電磁気学、電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
機 械 技 術 職		数学・物理・情報、材料力学、流体力学、熱工学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作

② 第2次試験

職 種	試験科目	試 験 日	会 場	合 格 発 表
一 般 事 務 職	総合適性検査 面接試験	令和7年10月 上旬～中旬の間で 指定された日 第1次試験合格者 に通知	富士市役所 (富士市永田町 1丁目100番地)	10月下旬 市ウェブサイト to 合格者の 受験番号を掲載 (合格者のみ通知)
土 木 技 術 職 (F-UJIターン枠)	面接試験	令和7年10月 上旬～中旬の間で 指定された日 第1次試験合格者 に通知	富士市役所 (富士市永田町1丁 目100番地)	10月下旬 市ウェブサイト to 合格者の 受験番号を掲載 (合格者のみ通知)
建 築 技 術 職				
電 気 技 術 職				
機 械 技 術 職				

☆総合適性検査の時間と出題分野

職 種	時 間	出 題 分 野
一 般 事 務 職	2時間	SPI3による能力検査(言語的理解、数量的理解、論理的思考等) 及び性格検査(※)

(※)性格検査は面接試験の参考資料とします。

③ 第3次試験

職 種	試験科目	試 験 日	会 場	合 格 発 表
一 般 事 務 職	面接・プレゼン テーション試験	令和7年11月上旬 第2次試験合格者 に通知	富士市役所 (富士市永田町 1丁目100番地)	11月下旬 市ウェブサイト to 合格者の 受験番号を掲載 (合格者のみ通知)

※ 第3次試験では、プレゼンテーション試験を併せて行います。最終合格者は、第2次試験の成績と第3次試験の成績を1:3の比率で総合して決定します。

4 受験手続

【秋日程】

令和7年 7月25日(金) 午後1時00分から
受付期間 同年 8月19日(火) 午後5時15分まで

※期限に余裕を持って申し込みをしてください。

(1) 申請方法

富士市人事課ウェブサイトの「市職員採用情報」にある
「令和7年度採用 富士市職員採用試験【秋日程】」のページより、
「富士市職員採用試験電子申請フォーム」へ接続してください。
(電子申請フォームは、7月25日(金)午後1時に公開となります。)



《市職員採用情報》

<https://www.city.fuji.shizuoka.jp/shisei/c1101/fmervo00000015p6.html>

(2) 受験票について

8月末頃までに、登録されたメールアドレスに受験票を添付して返信いたします。受験票には、
試験時間、試験会場などが記載されています。試験当日(一般事務職は2次試験以降)に
写真を貼付して持参してください。

電子申請ができない場合(インターネット環境がない等)のみ以下の申請方法で受付します。

郵 送
(簡易書留)

- ①試験申込書 市役所ウェブサイトからダウンロード又は配布の様式を使用し、手書作成の上、封筒に『受験申込』と朱書し、簡易書留で郵送してください。
- ②自己紹介書 市役所ウェブサイトからダウンロード又は配布の様式を使用し、手書作成の上、写真を貼付し提出してください。
- ③は が き 返送用の住所、宛名を記載し、「試験申込書」・「自己紹介書」とともに郵送してください。必ず85円分の切手が貼付されていることを確認してください。8月末頃までに、裏面に受験票を印刷し返送します。受験票には、試験会場、受験番号などが記載されています。
試験当日(一般事務職は第2次試験以降)に写真を貼付して持参してください。

(注)受験申込に必要な上記書類は、信書に該当するため、郵便法により、ゆうメール等は利用できません。
※申込は、8月19日必着となります。締切日以降に到達した申込書は受付しません。

直接持参

- ①試験申込書 市役所ウェブサイトからダウンロード又は配布の様式を使用し、手書作成の上、人事課へ直接提出してください。
- ②自己紹介書 市役所ウェブサイトからダウンロード又は配布の様式を使用し、手書作成の上、写真を貼付し、試験申込書とともに提出してください。
- ③は が き 返送用の住所、宛名を記載し、窓口で提出してください。必ず85円分の切手が貼付されていることを確認してください。8月末頃までに、裏面に受験票を印刷し返送します。受験票には、試験会場、受験番号などが記載されています。
試験当日(一般事務職は第2次試験以降)に写真を貼付して持参してください。

※直接持参による申込みの受付時間は、土曜日、日曜日及び祝日を除く、
午前8時30分から午後5時15分までです。受付最終日の午後5時15分以降の申込みはできません。

5 試験結果の開示

採用試験の結果については、受験者本人に限り下記により開示します。

試験区分	対象者	開示内容
第1次試験	第1次試験 不合格者	第1次試験の総合得点、 科目別得点及び順位
第2次試験	第2次試験 不合格者	第2次試験の総合得点 及び順位
第3次試験	第3次試験 不合格者	第3次試験の総合得点 及び順位

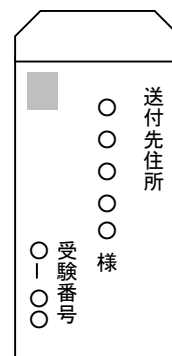
＜請求方法＞

採用試験の結果については、郵送により開示します。

希望者は、次の書類等を試験当日に持参してください。

- ① 試験結果開示請求書（市ウェブサイトからダウンロード・印刷し、必要事項を記入したもの）
- ② 住所、氏名、受験番号を記載し、110円切手を貼った返信用封筒（長形3号、右図参照）

※電話や窓口での開示請求は受け付けていません。



送付用封筒 長形3号
(タテ 235mm × ヨコ 120mm)

6 採用及び給与

- (1) 最終合格者には、健康診断書を提出していただきます。
- (2) 最終合格者は、採用候補者名簿に登載され、その中から任命権者が採用者を決定します。
採用は、令和8年4月1日の予定です。
- (3) 初 任 給(令和7年4月1日現在) ※一般採用

職 種	給料月額（地域手当を含む。）		
	大学新卒者	短大新卒者	高校新卒者
一般事務職、技術職など	208,472円	—	200,335円
消 防 職	236,900円	223,304円	207,030円

※ ただし、就職歴等により異なります。(経験者採用の方は、4ページ「給与等の例」をご覧ください。)
また、その他に通勤手当、期末勤勉手当などが支給されます。

7 勤務条件

- (1) 勤務時間 午前8時30分から午後5時15分まで（1日7時間45分）
- (2) 休 日 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日から1月3日まで）
- (3) 休 暇 年次有給休暇 年間20日付与（採用1年目は15日）
このほかに特別休暇（夏季休暇、結婚休暇、忌引休暇など）、育児休業制度などがあります。

※ 休日、休暇、勤務時間は、配属先、職種により上記と異なる場合があります。

(例) 消防職(交替制勤務 消防署など)

勤務時間: 午前8時30分から翌日午前8時30分まで 休日: ローテーションにより割振

富士市役所で働こう！

令和7年度実施 富士市職員採用試験



【富士市ブランドロゴ】

富士山のすそ野を、田子の浦の波に。

富士山と海をあわせもつ、

富士市ならではのオリジナリティです。

● お問い合わせ

富士市役所 総務部 人事課

〒417-8601 富士市永田町1丁目100番地

電 話 (0545)55-2711(直通)

FAX (0545)53-6669

メール jinji@div.city.fuji.shizuoka.jp

富士市ウェブサイト <http://fujishi.jp/>



富士市職員採用

